

意欲を取り戻せ!! 集団レクリエーションへの取り組み

レクリエーションによる入所者の変化をみる



介護老人保健施設 青海荘 青海 太郎

〇〇京子・△△優子・□□啓子・××明子・◎◎隆恵

変化や刺激の少ない施設生活を過ごす利用者様にとって、レクリエーションは楽しみのひとつであり、同時に、スタッフにとっても利用者様と密なコミュニケーションが取れる貴重な時間である。

当施設では日々の業務に追われ、この潤いある時間が減少する傾向にあったため、2年前より『レクリエーションチーム』を結成し、施設生活の活性化に努めている。

この度、新しいメンバーも加わり、さらに活動を盛り上げるため、利用者様による共同作品の制作に取り組んだ。

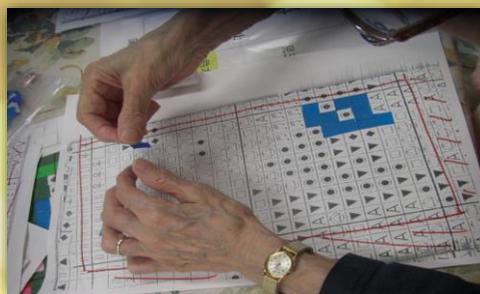
この過程で、利用者様の同士の交流、自主性・協調性の向上及び、達成感の共有と“素敵笑顔”を確認したので、報告する。

【制作方法】



色紙を枠内に収まるサイズに切り分別する

原画どおりに色紙を貼りつける



【制作方法】

- ①下絵『海辺のコスモス：枠線付』を拡大する
- ②色紙を枠線内に収まるサイズ1.5cm角に切り、分別する。ここまでの過程はスタッフが担当した。
- ③制作メンバーが、原画どおりに色紙を貼りつける。

制作期間は5月15日～7月30日までとし、約2ヶ月での完成を目標とした。

制作メンバーは全利用者様にお声掛けをしたうえで、身体機能・理解力及び制作意欲を考慮し、14名を人選した。

但し、和やかな雰囲気作業を進めるため、制作中はどなたでも参加できるよう配慮した。

【評価】 評価シートの作成

平成27年 月 日					
氏名					
項目					
声掛けへの反応					
やり方が理解できているか					
集中しているか					
作業中の状態					
作業時間					
気づき(具体的に記入) <small>(例)貼ってもらふマークに○印をつけると、 分かりやすかったようです。</small>					



作業効果を計るため、簡単な評価シートを作成し、評価視点の統一を試みた。
また作業開始時にHDS-R、MMSEも実施し、完成時に再度評価することとした。

【経過】



【経過】

実施は水曜日、土曜日以外の14時から談話室で行うこととした。

実際に作業を開始すると、指定された場所に指定された色を貼るとい行為は予想以上に時間がかかり、集中力の持続も難しかった。

また、他のレクや業務と作業時間が重なり、参加メンバーが減り、作業が停滞する時期もあった。

このため、作業開始時はメンバー以外にも積極的に広く声掛けを行うようにしたところ、徐々に人数も増え、楽しい雰囲気を持しながら、結果的には多くの利用者様が本作品の制作に関わることとなった。

【事例1】

平成27年 6月 22日						
氏名		A	B	C	D	E
項目						
声掛けへの反応		喜んで	行きましょう	しましょう	いいよ	喜んで
やり方が理解できているか		○	○	○	○	○
集中しているか		○	○	○	○	○
作業中の状態		積極的	積極的	積極的	積極的	積極的
作業時間		40分	30分	30分	30分	10分
気付き(具体的に記入) <small>(例)貼ってもらうマークに○印をつけると、 分かりやすかったようです。</small>		「作業するのが好き」と言われる	他入所者とコミュニケーションをとっている	「また来るよ」と言われる	「手が痛くなった」と止める	10分後「頭が痛い」と言われる



【事例紹介】

C様 女性 80代 要介護度●

日常生活自立度C2・認知症高齢者自立度Ⅲa

以前は活動的であったが、最近は「ベッドで横になりたい」と訴えることが多くなっていた。

イベント等には積極的に参加される。

当初はメンバーではなかったが、作業参加に意欲を示し、作業中は非常に楽しそうに過ごされるため、途中からメンバーに加わっていただいた。

HDSR 開始時17点 → 完成時19点

MMSE 開始時16点 → 完成時19点 と改善がみられた。

【事例2】

平成27年 6月 30日						
項目	氏名	F	B	G	D	H
声掛けへの反応		やりましょう	14時半までね	しましょう	やろうかね	いいよ
やり方が理解できているか		○	○	○	○	○
集中しているか		○	○	○	○	○
作業中の状態		積極的	積極的	積極的	積極的	途中で「もういい」と言う
作業時間		40分	40分	30分	30分	10分
気付き(具体的に記入) <small>(例) 貼ってもらったマークに○印をつけると、分かりやすかったようです。</small>		集中して取り組む	集中して取り組む	集中して取り組む。途中手を洗いに行き、その後作業に戻る。	「どこに貼るかね」と質問され、指定の色を教えると集中して取り組まれる。	集中して取り組む



事例 2

H様 女性 80代 要介護度●

日常生活自立度A1・認知症高齢者自立度Ⅲa

仲の良い利用者様と散歩や会話を楽しまれていたが、その方が退所してからは居室で過ごすことが多くなった。

新たな人的交流を目的に活動に参加いただいたところ、メンバーとの会話も弾み、積極的に参加するようになった。

HDS-R 開始時24点 → 完成時26点

MMSE 開始時24点 → 完成時27点 と改善がみられた。

【事例3】

平成27年 7月 9日						
項目	氏名	F	B	G	I	J
声掛けへの反応		○	○	○	○	○
やり方が理解できているか		○	○	○	△	△
集中しているか		○	○	○	○	○
作業中の状態		積極的	積極的	積極的	積極的	積極的
作業時間		30分	30分	30分	20分	10分
気づき(具体的に記入) <small>(例)貼ってもらおうマークに○印をつけると、 分かりやすかったようです。</small>		手慣れたようで 丁寧にされている	「また呼んでね」 と言われる	「また来るよ」と 言われる	貼る場所に戸 惑う	「昔よくしていた 図工、図面が好 きだった」と言 われる。



事例 3

F様 女性 90代 要介護度●

日常生活自立度A2・認知症高齢者自立度 I

居室で過ごすことが多く、時折談話室にてTVを観ているが、他者との交流は積極的ではなかった。

活動への参加を勧めたところ「昔は色々作って、人にあげてたのよ。やりたいわ。」と積極的に参加され、作業への理解、集中力ともに良好で、作業も丁寧なうえ、他者との会話も楽しまれていたが、7月11日転倒による左肩骨折にて、以降参加出来なくなった。

HDS-R 開始時25点 完成時23点

MMSE 開始時18点 完成時21点 とMMSEについては改善がみられた。

【結果】



【結果】

活動に必ずしも積極的でなかった方や、居室で過ごすことが多かった方の参加機会が増え、決して簡単ではない作業に取り組むことで、利用者様の意欲は確実に向上したと思われる。

また、ご利用者様同士の新たな交流も生まれ、フロア内に笑顔が溢れる時間も生まれました。

【まとめ】



【まとめ】

今回の取組みを通して、固定化された定番レクに趣旨の異なる集レクを加えることで、新しい相乗効果が得られることを再認識できた。

また、因果関係は特定できないが、HDS-R・MMSEにおいて一定の効果も認めた。

今後も活気ある施設生活の定着を目指して、『レクリエーションチーム』で継続した取組みを実施していきたい。